

2022年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘C) 招聘成果報告書

(*本報告書は本学ウェブサイト等で公開されます)

(適宜行追加可)

受入担当 教員	所属・職	社会学部・教授
	氏名	倉島 哲
海外客員 教員	所属・職	パリ・シテ大学・教授
	氏名	Bernard ANDRIEU
招聘目的	1. 授業担当及び研究 2. 共同研究 (いずれかに○)	
招聘期間	2022 年 10 月 22 日 ~ 2022 年 11 月 7 日	
招聘成果報告 以下の内容を記載して下さい。	<p>(1) 共同研究の内容</p> <p>本研究「武術における内的感覚の知覚に関する学際的共同研究」は、武術の身体技法のパフォーマンスにおいて内的感覚の知覚が果たす役割を、社会学と哲学の学際的共同研究により解明することを目的とする。具体的には、京都・大阪で開催されている武術交流会に焦点を当て、参与観察およびインタビュー調査を行うことで、身体的パフォーマンスにおける主観的側面と社会的側面の関係を解きほぐす。</p> <p>(2) 共同研究の成果</p> <p>フィールド調査としては、まず、大阪（10月23日）および京都（10月30日）にて開催された武術練習会における参与観察とビデオ撮影およびインタビュー調査を行った。この練習会は、申請者がすでに参与観察を開始しラポールを形成しているため、本調査のスムーズな実施が可能となった。</p> <p>申請者およびアンドリュウ教授の一方が練習に参加しているさいには、他方がビデオ撮影をすることで、主観および客観の双方から技法を捉えることができた。インタビューは個別の半構造化インタビューとして行い、アンドリュウ教授が質問するさいは申請者が通訳を務めた。調査の結果は、申請者とアンドリュウ教授の共著論文としてBody & Societyに投稿する予定である。</p> <p>フィールド調査に加えて、本学社会学部において若手研究者養成のための活動を行った。アンドリュウ教授の研究発表を中心とする大学院生対象のセミナー（10月25日）を開催したことに加え、大学院生たちの英語による研究発表を中心とするワークショップ（11月1日）を開催した。また、学部生を対象としたゼミ（10月28日、10月31日）でも、アンドリュウ教授に研究の概略をわかりやすく紹介していただいた。これに加えて、社会学部教職員の参加する社会学部研究会（11月2日）でもアンドリュウ教授に研究発表をしていただいた。学会活動としては、日本スポーツ社会学会国際交流員会および本学の共催により、公開セミナー「生ける身体とスポーツ社会学」を大阪梅田キャンパスで開催した（11月5日）。</p> <p>このように、アンドリュウ教授の滞在期間をとおして、学内外の研究者と交流する場を数多く設けることができた。</p>	